



樹妙だより

No.201 2023/2.3



鏡開き（2023年1月17日）

慈 悲 喜 捨

2月を迎え、まだ寒い日が続きます。新型コロナウイルス感染症やインフルエンザなどへの罹患が懸念される中で、以前に紹介した英国の詩人シェリーの「冬来たりなば、春遠からじ」の言葉について、あらためて考えました。

この言葉を専門家が訳すと、「冬が来るなら、春が遙か遠いことがあろうか。」という疑問文になるそうです。日本では、強い疑問は反語のように訳すことがあるので、「冬が来るなら、どうして春が遠くにあるだろうか、いやそうではない。」となり、それが前述のような疑問文訳につながったということです。

この言葉の意味は、「寒い冬を乗り越えれば、暖かい春が待っている」「試練があるのは、それだけ幸せが近づいている」ということです。私たちは、コロナ禍がそうであるように、困難な状況を乗り越えるために様々な対応を求められることがあります。しかし、それをどのように考えるかによって結果は違ってきます。「歯をくいしばって頑張る」という考えが

ある一方で、「明日を夢見て、今を忍ぶ」「共に手を取り、笑顔で今を過ごす」というようなポジティブな考え方もあります。私は、厳しい状況を耐えていかなければならないなら、明るく楽しくしたほうがよいと思います。その方が、気持ちが楽になって、周囲に心配を掛けることも少なくなるのではないかと思います。そして、「辛抱の先には希望がある」と言われるように、「あの時が楽しかった」と心から思える日が必ず来ると思うからです。

暦の上で、2月4日は立春です。「立春大吉」といって一年で一番縁起のいい日です。そして、3月には、3年生が人生の節目となる卒業式を迎えます。生き物や草木が、温かな春を心待ちにして、寒い冬を過ごしているように、私たちも、今を、明るく、楽しく、元気に乗り越え、希望に満ちた春を迎えましょう。

春はすぐそこまできています。

教頭 金安伸一



樹徳高等学校長
野口秀樹

2月に入りまもなく3年生、一貫校6年生は家庭学習に入ります。進路決定した者、自分の目標に向かって今懸命に頑張っている者、様々ですが最後まで全力を尽くして欲しい。そして卒業までの時間を大事にして欲しいと思います。

彼らの高校生活はコロナで始まりました。保護者来賓在校生が誰もいない新入生のみの入学式、次の日から長い臨時休校が始まりました。

そして引き続いての新型コロナ感染拡大状況での卒業式で巣立って行くのでありましょうか。

しかしながら、先の見えない時代を、この経験で培ったたくましさで樹徳で磨いた明るさを元に、しっかりと未来を切り開いていく生徒たちに育ってくれた。そのように感じております。

私たちは毎日毎日、選択の連続で生きています。気づかずとも自分自身で決定して一つの方向へ進んできました。これからも同様に選択の連続で生きていくのだと思います。違う選択をしていたら違う方向へ進んでいたはずです。そうした無限の選択をし続けた結果として今があります。

皆様は今の自分の姿、立ち位置、すべてに関して思い通りでありますか？満足しておりますか？

もし自分に不満があったとしても、それはあなたの今までの責任であったことを忘れてはいけないと思うのであります。

私たちはいったい1日にどのくらい選択をして生きているのでしょうか。

目覚めたときすぐに起きるか、布団からなかなか出なかったか。朝食を食べるか食べないか。パンにするか、ご飯にするか、服装はどうするか、こんなことから始まります。

別の所に目を向ければ、学校の選び方、大学へ行くか行かないか、あるいは結婚の問題。結婚するかどうか。相手はどんな人を選ぶか。貯金をするか、借金するか。家を買うか、それとも部屋を借りるか。ボランティアをするかしないか。

この通り選ばなければならないことが山ほどあります。そしてそれぞれの選択によって、人生のコマがすこしずつ違った方向へ進んで

いくのです。

次に仕事の選択について考えてみます。ほとんどの人にとって、仕事は重要な選択です。時間もエネルギーも。人生の大部分は仕事のために費やされます。

どんな仕事を選ぶかで人生は大きく変わっていきます。小さな会社で働くか、大きな会社で働くか、それとも自分で起業するか、などなど、選択肢は様々です。あなたが何を選ぶか。

どんな仕事であれ、その仕事に就けば、今度はその人の日々の選択が仕事に大きく影響してまいります。ここでも小さな選択の積み重ねがビジネスを動かしていくのです。

ということは、仕事で成功するかどうかは、その人の選択判断力にかかっている。こちらでも選択の正確さと賢明さが長い目で見たら結果を左右することになります。

ここでまた冷静になって考えを進めていきます。

人のあらゆる選択は、その時何を考えていたかによって決まってくる。心の中の考えが、選択判断として外に現れてくる。

まず心の中の考えが何かを選ぶ動機になります。そしてその選択判断がその人の行動となり、その行動は、外の世界に何らかの結果をもたらすことになります。

周りの人の目に見えるのは結果のところですよ。この結果こそが、その人はどんな人かという評価につながっていく。

結果が出てくる以前からあった大事なものは「心の奥にある考え」と言うことになります。

長くなりましたが、喜びの人生を作り上げていく源に私たちの心のあり方がある。ならば日常生活の中で私の心にもいつも気を配り、栄養を与え、いつでも豊かに選択判断できる、心の土壌づくりを心がけなければなりません。もしかすると心が人生を作るのかもしれない。

合掌



選択のイメージ (steheap / Adobe Stock)

I A Cの歳末助け合い募金 130万円を超える!!!

『歳末助け合い
募金活動を終えて』

令和4年12月1日から25日までの間、私たち樹徳高等学校インターアクトクラブは、歳末助け合い募金活動を行いました。

募金活動は、校内はもちろん、街頭ではヤオコー相生店、境野店さんの前で行いました。約1ヶ月にわたる活動で、お預かりした浄財の総額は、1,305,161円となりました。お陰さまで、多くの方々から浄財をお預かりすることができました。

ご支援いただきました方々の中には、毎年私たち活動していることを覚えてくださり、1年間蓄えた多額の浄財を募金してくださる方もいらっしゃいました。

私たちは、今年度の歳末助け合い募金活動を担

当していますが、これは過去の先輩方の活動が街の方々の記憶に残り、ご支援いただいたものと感じ、改めて多くの方々に支えられている活動であると感じました。

なお、お預かりいたしました浄財は昨年12月27日に、全額、桐生市社会福祉協議会に納金させていただきました。皆様からお寄せいただいたご支援が、それを必要とされる方々に届けられることで、地域の福祉の一層の向上に結びついていくものと確信しています。

毎年の恒例行事となった、樹徳高等学校インターアクトクラブの歳末助け合い募金活動へお寄せいただいた、皆様のご支援に改めて感謝申し上げますと共に、今後ともこの活動へのご支援、ご協力の程、よろしくお願いいたします。

I A C 会長

3年K1組 佐藤 琴美



桐生市社会福祉協議会への納金



多くの市民の皆様にご協力をいただきました

新年の各行事 今年も華ひらく。

□校内書き初め大会

1月12日、校内書き初め大会が開催されました。今年もコロナ禍につき、十分な間隔をとりつつ記念館4階の講堂にて行われました。困難な状況下にあっても、健全な心身と豊かな心情を養い、併せて伝統文化への理解を深める。そんな新年の行事は形態を模索しつつ、行われています。

□大学入学共通テスト出陣式

新年を迎えた1月13日、大学入学共通テストを前に、毎年恒例の出陣式が行われました。

昨年度に引き続き今年もコロナ禍のため「密」を避け、各教室にて出陣式が行われました。三年間培ってきた学びの全てを胸に、いざ出陣です。

天地清和

最優秀賞
5年 亀山 涼

光風動春

特賞
1K 高橋 希帆



3年K2組! いざ出陣!!!

「待つ」と「聞く」

私は教師になり今年で2年目になります。教師という仕事を意識したのは、高校生になってからでした。高校2年生の夏休みに参加した、小学生学習サポートのボランティアでのことです。算数の問題で「難しい」と頭を抱えていた児童に出会い、自分なりに、わかりやすいと思う方法で教えてみました。すると、その児童が一生懸命理解しようと頑張ったからでしょう、無事、問題を解くことができました。私は、その児童の様子を見て、「人にもものを教える」という仕事に魅力を感じました。

ご縁があって樹徳高校に勤務するようになり、早くも一年が過ぎようとしています。この一年間を振り返ってみると、本当にさまざまなことがあり、あっという間の日々であったと思います。それも、生徒のみなさんとの関わりがあったからこそだと、強く実感しています。今回は、一年間の生徒との関わりの中で、特に印象に残っていることについて、書いてみたいと思います。

憧れであった教師となり、生徒のみなさんの相談を受ける機会が増えるにつれ、私は、自分が人に相談したときのことを思い出して、「今度は自分が、同じように悩んでいる生徒の力になりたい」と思うようになりました。そこで私は、二つのことを実行してみようと考えました。それは、「待つこと」と「話を聞くこと」です。

私は幼少の頃から、人に相談することが得意ではありませんでした。どうやって相談すればいいのかわからず、いざ相談しようとしても、緊張してしまってうまく話せないのです。だから、相談相手に「何を言いたいかわからない」と言われ、ますます緊張してしまって話がまとまらない、といった悪循環を繰り返していました。また、アドバイスをいただいても、それを要領よくまとめて上手に事に当たる、という器用さがなく、結局解決できない悩みをため込んでしまう、ということも多々ありました。話すペースも遅く、聞いてもらっている友人に「つまりこういうことだよ」と先回りされてしまい、「ちょっと違うんだけど」と、モヤモヤしたこともあります。

今、思い返してみると、随分多くの人に相談を持ちかけ、迷惑をかけてしまったと、反省しきりです。しかし、その中で何人か、相談下手な私が安心して相談できた相手があります。「どうして、あの人には相談できたのだろう。」と考えた私は、あることに気づきました。その人達は、私が話すのを根気強く待ち、話し始めるとじっと聞いてくれていたのです。しかし、決して、聞き流しているわけではありません。私の悩みを無理に聞き出したりせず、私のペースを大切にしてくれたのです。その頃の私はそれがとても嬉しく、何度も相談をしたのだと思います。

その頃のことを思い出し、私は気づきました。今度は自分が聞き手になる番だと。だから、教師

になった私は、「待つこと」と「話を聞くこと」の二つを、自分の努力目標に置いています。しかし、実際はまだまだ「きちんと話を聞いてあげられなかった」と、反省することがたくさんあります。しっかりと相手の話を聞いているかどうか、不安になります。ですが、できるだけ生徒が話し始めるのを待ち、話し始めてくれたらその話をしっかり聞こう、と思い、努力しています。

そんな私にある時、一人の生徒が、「話を聞いてくれてうれしかった。」と笑顔で言ってくれました。その瞬間、ホッとして、心の中の何かが溶けた気がしました。今自分が、一人の生徒の話を聞いてあげることができた、ということが、とてもうれしかったのです。そしてそれと同時に、これまで私の相談にのってくださった多くの方々に對して、ほんの少しですがご恩返しができた気がしました。

この一年間を通して、関わってきた生徒のみなさんの成長を、日々、目の当たりにしてきました。最初の頃にはできなかったことを、今では得意げにやってみせてくれます。日々生徒のみなさんの努力に感動することばかりです。これからも、生徒のみなさんが成長してゆく姿を、近くで見たいと思います。その過程では、さまざまなことに悩む時があるはずです。そんな時、私は、みなさんの話を聞いてあげられる存在でありたいと思います。そして、私自身も、たくさんの経験を積んでいく中で、みなさんとともに成長していきたいと、強く思っています。

〈保健体育科 村上 摩葉〉

二月の法語

いただきものの人生

三月の法語

あなたには 一歩を
踏み出す勇気がありますか

一貫校 中学校 だより

七転び八起き

年度のまとめの季節となりました。本年度はどうだったでしょうか。ニュースで大谷選手のことが多く出てきました。また、サッカーのワールドカップも大きな感動を与えてくれました。活躍した選手たちは、いつもうまくいっているわけではありません。まして、あのよう活躍できるようになるまではうまくいかなかったことも多かったのだと思います。

失敗し失望したとき、一流の人は後悔していないところが違います。反省はしても後悔していないところが一流なのかもしれません。どこが至らなかったのか反省して、次を目指す精神を持っているのだと思います。

もともと、失敗するということは、自分が想定したことから外れてしまう現象です。

大切なことは想定しなかったことが起きた時の対応の仕方です。これをプラスにとらえるかマイナスと考えるかが分かれ目になるのです。

皆さんも失敗しないで目的を達成しようとして毎日努力をしますね。しかし、部活動で毎日決められた練習計画をきちんとこなして熱心に行ったからといって、必ず優勝するとは限りませんし、勉強を猛烈にやったからといって、全員が目的を達成できるとは限りません。人生において、失敗を避けて通ることはできないのです。

失敗したときに、反省するのか、後悔するのかによって、全くその後の人生が変わってしまいます。後悔というのは、自分には能力がないとしてあきらめてしまうこと、さらには挑戦したことや努力をしたことを否定してしまうことです。前向きに失敗を受け止め反省するということは、自分には能力があると考え、どこが至らなかったか分析して、次のことにあたることです。

失敗なくして大きな成功はないのです。ユニクロの社長の柳井正さんによれば、「今までは1勝9敗だった。それは1勝するための9敗であり、失敗はすべて成功の布石であった。」「早く失敗して、早く考えて、早く修正する。」このようなことが大切であると言っています。柳井さんが失敗したことといえば野菜などを売ったことも失敗で、ロンドンに進出したのも失敗だったと言っています。しかし、そこで何十億円失ってしまった。あれがなければ、などと後悔しないで、どんなことが至らなかったのかを正確に分析し反省した結果が、大成功となったヒートテックに生きていると言っています。

失敗は大きな飛躍をするためのチャンスなのです。皆さんは成功するために最大限の努力をして、万一失敗しても、それを前向きにとらえ、それを成功するため、一流になるための布石として、そして心の栄養として、更なる飛躍をしてくれることを期待します。

校長 辻村好一

◆中学華道教室

12月15日(木)、1月19日(木)、2月16日(木)、2月21日(火)の全4回にわたり、野口宗幹先生、花清社長 近藤創様を講師としておまねきし、中学2年生を対象に華道教室が実施されました。

＜感想＞

・初めての華道教室は難しかったですが、花をいけていくごとに心が清々くなりました。

Y・M



◆科学の甲子園ジュニア

第10回科学の甲子園ジュニア県大会にて優勝をおさめた2年生3人が12月2日～4日に開催された全国大会に参加しました。

＜感想＞

・大会前のたくさんの試行は大変なこともあったが、全力を出して、また楽しんで大会を無事終えることができてよかった。

R・A

・今回の経験を通して考えたり、感じたりしたことを自分の糧にしていきたいです。

J・H

・少し悔しい気持ちもありますが、みんなと協力して取り組むことができたので良かったです。

H・K



幼稚園だより

◆冬から春へ

～新年度に向けて締めくくりを

いよいよ二十四節気も最後、大寒を迎えました。1月20日(金)から2月3日(金)の15日間は、1年の中で最も寒さが厳しい時期となります。ただ、この時期を過ぎると、少しずつ春に向かい始め、幼稚園の周りの樹木や草花から春の息吹を感じられるようになってきます。そして、今年度も残り2か月となりました。年長組の子どもたちにとっては小学校入学の準備が進められ、期待と不安が少しずつ出てくる頃です。子どもたちが幼稚園で身に付けた資質・能力を小学校教育で自信をもって発揮できるように、我々教職員は、卒園までしっかりと教育活動を行い、幼稚園教育の締めくくりを努めたいと思います。

◆雀の行動から見た「心の教育」

大分年月が経ちましたが、ある哲学者から「心の教育って何？」というテーマでお話を伺う機会がありました。その時伺った内容がとても心に残っております。

そのお話は「雀の話」です。

我が家に鳥たちが来ます。東京住まいなので種類はそんなにいないのですが、一番多いのが雀です。私は、置き餌はしません。目と目が合ったときに、「よく来たな。」という感じで餌を投げます。

雀は10羽くらいで来ます。雀の世界でも、言葉は悪いのですが、“にぶい雀”がいます。米粒を足下に投げてやってもウロウロ、キョロキョロするだけで食べられないのです。

また、こんな雀もいます。自分の分を5、6粒すばやく食べてしまうと、ちょっと高い所に上って他の雀たちの様子を見ています。みんなが餌を食べられているかどうかを見守っているかのようなです。まるで集団を預かる“ボス雀”のようです。



寒さに負けずに元気いっぱい！



みんなで友達の成長を喜ぶお誕生会

いつまで待っても“にぶい雀”が餌を食べられないのを見かねて、“ボス雀”が行動を起こします。勢いよく米粒に向かって飛び付き、くちばしにくわえると、勢い余ってつまずいたかのように、“にぶい雀”のすぐ近くで転び、思わずくちばしからこぼれたように米粒を落とします。そして、キョロキョロと探すふりをします。そして、見つからない素振りでもた高い所に止まります。“にぶい雀”も、さすがに目の前にこぼれてきた米粒をついばみ食べることができるのです。

“ボス雀”の相手を思いやるしぐさがいいですね。「やってやる」といったところが全くない。あたかも自分が失敗したというようにしている。雀の心に感心します。

30羽くらいいれば3羽は必ずいますね。そういう雀が。

当時、このお話を伺って、日だまりの中でのほのぼのとした雀の姿から、「心の教育」の一端を見つけた感じがしました。相手を思いやるとはどういうことか、人に優しくするとはどういうことなのか。相手のことを思い、その思いを行為で表す、それは人間社会だけのことではないのですね。

園長 佐野 悦生



年間を通して学ぶお茶の作法

入園児募集中

◎2歳・満3歳・3歳児の入園をお待ちしています。

◎募集人員 2歳児 10名、満3歳児 10名、3歳児 10名

◎入園受付：1年を通して随時受付、入園できます。見学もいつでもできます。

<お問い合わせ>

住所：桐生市広沢町三丁目4475番地

TEL：0277-53-5571

ホームページ <https://www.jutoku.ed.jp/kinder/>

2月(忍辱)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	水	校内安全点検 1、2年生中間試験・3年生総合コース卒業試験～2日まで	安全点検日	安全点検日 英語・文字(年長)
2	木	2年生ベネッセ大学入学共通テスト模試(3,4日)		体育・文字(年中)
3	金	マイトリート金日 スキー教室費用納入日		大節分会(大善寺)
4	土	第3回吹奏楽部定期演奏会	第3期中学入試	開園日(預かり保育)
5	日			
6	月	LHR 3年生一斉指導 一般・ステップアップ入試合格発表日 教育連携講座㉓ 授業料納入日(3年2,3月分) 第3回諸費納入日	中学茶道教室	新入園児生活説明会(～9日) リズム・線(年少)
7	火	3年生家庭学習開始 1年生スキー教室一斉指導 後援会役員会㉔		読み聞かせ
8	水	県校長会		英語・文字(年長)
9	木	卒業褒賞関係候補者選考会議	中学1・2年合同スキー教室(～10日)	体育・文字(年中)
10	金	私学保護者連合会理事会(樹徳) 漢字検定③		涅槃会(大善寺) 保育料納入日
11	土	建国記念の日		
12	日			
13	月	LHR 卒業成績会議(15:00～) 教科主任会㉕		保護者役員会 リズム・線(年少)
14	火	スキー教室(一班・～15日)		ボール投げ教室
15	水	涅槃会 教育連携講座㉔		お茶のお稽古㉖
16	木	スキー教室(二班・～17日)	中学華道教室	文字(年中)
17	金	制服アフターサービス		お誕生会(2・3月生まれ)
18	土	数学検定②	数学検定	開園日(預かり保育)
19	日	英語検定③二次		
20	月	朝礼 教育連携講座㉕ 運営委員会㉖		ひよこ・すみれ組保育参観 リズム・線(年少)
21	火		中学華道教室 立志式	もも組保育参観 読み聞かせ
22	水	教育連携講座㉕		さくら組保育参観 英語・文字(年長)
23	木	天皇誕生日		
24	金			たけ組保育参観
25	土	第2回入学手続き	第2回入学説明会	開園日(預かり保育)
26	日			
27	月	LHR 卒業式会場作成 7時限大掃除	中学華道教室	リズム(全)・線(年少)
28	火	卒業式予行演習・予餞会 出欠統計提出		

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の状況により予定が変更されることがあります。



桐生錦町一丁目

盛運橋薬局前

■ 樹徳コミュニティセンター「み法」

2月、3月の予定はありません。

3月(智慧)の行事予定

日	曜日	高等学校(本校)	一 貫 校	幼 稚 園
1	水	卒業式 卒業式後片づけ(午後) 校内安全点検	卒業式(高校) 校内安全点検日	安全点検日 文字(年長)
2	木	学年末試験(～3日, 6～7日) 職員集会	学年末総まとめテスト(中学～6日) 学年末テスト(高校～7日)	体育・文字(年中)
3	金	雛祭り 中高協会定例会(桐一) マイトリー抛金日		体育(全)・文字(年中)
4	土			開園日(預かり保育)
5	日			
6	月	授業料納入日 教科主任会⑩ 日私中高連常任理事会		リズム・線(年少)
7	火	市街地清掃(通算97回目)		読み聞かせ
8	水			お茶のお稽古発表会(年長親子) 英語
9	木			お別れ会練習 謝恩会準備
10	金	新採用者事前研修 第3回法人役員会(13:30～)	中学3年生保護者会	お別れ会・謝恩会 保育料納入日
11	土		中学1・2年生保護者会	開園日(預かり保育)
12	日			
13	月	LHR 写真撮影(1, 2年生) 地震防護及び防火避難訓練② 運営委員会⑦		リズム・線(年少)
14	火	担任宛成績提出(13:00～) 制服アフターサービス		お別れ遠足
15	水	視聴覚教室 大学合格体験報告会	視聴覚教室	英語・文字(年長)
16	木	教務宛成績提出(13:00)		体育・文字(年中)
17	金	第3回入学手続(13:00～)		
18	土			開園日(預かり保育)
19	日			
20	月	LHR		卒園式予行練習
21	火	春分の日		
22	水	学年別一斉指導 成績会議 出欠統計提出 三学期出欠締切		第70回卒園式
23	木	終業式・大掃除	終業式 中学校卒業証書伝達式	卒園児預かり保育①
24	金	生徒春休み 奨学生審査会③(13:30～) 部活動強化合宿開始	中学・高校補習(～28日)	令和4年度修了式 卒園児預かり保育②
25	土			開園日(預かり保育)
26	日			
27	月	学籍整理・年度末事務 運営委員会⑧(9:30～)		春季休業日 預かり保育① 卒園児預かり保育③
28	火	学籍整理・年度末事務 学年主任会議(9:00～) 教科主任会議(10:00～) 新入生進学クラスオリエンテーション(13:00～)		春季休業日 預かり保育② 卒園児預かり保育④
29	水	学籍整理・年度末事務		春季休業日 預かり保育③ 卒園児預かり保育⑤
30	木	学籍整理・年度末事務		春季休業日 預かり保育④ 卒園児預かり保育⑥
31	金	学籍整理・年度末事務		春季休業日 預かり保育⑤ 卒園児預かり保育⑦



樹徳高等学校
樹徳中学校
樹徳幼稚園

〒376-0023 群馬県桐生市錦町一丁目1番20号
TEL 0277-45-2258 FAX 0277-47-1671 Mail j-koukou@jutoku.ed.jp

〒376-0022 群馬県桐生市稲荷町4-12
TEL 0277-45-2257 FAX 0277-45-2262 Mail j-chugaku@jutoku.ed.jp

〒376-0013 群馬県桐生市広沢町三丁目4475
TEL 0277-53-5571 FAX 0277-53-5572 Mail j-youtien@jutoku.ed.jp

Web <https://www.jutoku.ed.jp/>

発行責任者 野口 秀樹 印刷所 太陽印刷工業(株)

夢は大きく 根はふかく